

令和6年度Sport in Life 推進プロジェクト  
(スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)

—子ども第三の居場所×スポーツで「あそぶ」「つながる」「元気になる」—  
子ども・若者の生きる力を育むスポーツコミュニティ事業

令和7年2月24日

一般社団法人PlusDeporte



# 令和6年度Sport in Life 推進プロジェクト (スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)

## 【事業報告①:事業の全体概要】

代表団体名:一般社団法人PlusDeporte

事業タイトル:子ども第三の居場所×スポーツで「あそぶ」「つながる」「元気になる」  
子ども・若者の生きる力を育むスポーツコミュニティ事業



構成団体	株式会社ルネサンス、エヴリー合同会社
事業のターゲット	①子供・若者 ②働く世代・子育て世代 ③女性 ④高齢者
実施フィールド (地域)	東京都東村山市

### 事業内容(要約)

- ①地域みんなで楽しむ「多世代交流型スポーツフェス」
- ②気軽に立ち寄りカラダを動かしたり交流したりできる「スポーツコミュニティClub活動」
- ③スポーツコミュニティ活動を支える「地域サポーター人材育成」事業

### 事業ターゲット

#### ■本事業のターゲット像

##### 小中学生(主対象)が抱えている課題

- 不登校や学校になじめない子が増加している。
- 運動が苦手な子や人との関わりが苦手な子の割合が増えている。
- 不登校や学校になじめない子は、日頃から運動機会が少ない傾向にあり、またこのような子たちが、自分のペースで楽しくスポーツを実施できる環境がまだ地域に少ない。
- 楽しく体を動かす機会の減少は、心身の不健康な状態を招くリスクが高い傾向にある。

#### ■ターゲットのスポーツ実施を促すためのポイント

##### ①子どもが自由に集い活動できるスポーツコミュニティ拠点の創出とサポーター人材の育成

地域の「子ども第三の居場所」を活用し、子ども達が自分のペースで参加できるスポーツコミュニティを創出する。また、事業の継続性を見据え、活動を支援するサポーター人材の育成を行う。

##### ②運動が苦手な子や人との関わりが苦手な子でも楽しく参加できるプログラムの提供

1人でも VRを使ってゲーム感覚で楽しめるスポーツや、ゆるスポ、自宅でできる動画プログラム等、子ども達のやってみたい！を引き出す多様なプログラムを提供する。

### 事業の背景

- ・地域内の子どもの数の減少により交流機会も減少している
- ・一方、不登校や学校になじめない子どもや、運動が嫌いな子どもの数は増加傾向にある

### 本事業の狙い・実施概要

#### 【ターゲットの状況を考慮した先進的なデジタル技術等の活用】

子どもの状況	子どもを取り巻く社会環境
<ul style="list-style-type: none"><li>●少子化</li><li>●不登校や学校になじめない子どもが増加</li><li>●運動が苦手・嫌いな子どもが増加</li><li>●コミュニケーションが苦手な子どもが増加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●デジタルネイティブ世代</li><li>●ゲーム、SNS等のオンラインコミュニケーションが可能</li><li>●子どもの第三の居場所が増加</li></ul>

スポーツへのネガティブイメージ払拭のためにデジタル技術を活用し  
子ども達の運動・スポーツへの意欲向上と日常化へ繋げる

VR・オンデマンド配信を活用した新しいスポーツ体験の提供

- ✓ VRスポーツプログラムの活用
- ✓ オンデマンドプログラム配信の活用

**事業実施内容**

**①地域のみんで楽しむ「多世代交流型スポーツフェス」**

**【実施概要】**

実施期間: 2024年10月~12月

実施拠点: TAC東村山スポーツセンター、OXALA COMMUNITY PARK

実施対象: 東村山市および周辺に居住する子ども・若者および地域住民

実施内容:

市との連携(市主催の3,000名以上が参加するスポーツイベント「ぐるスポ」)、地域企業との連携によるスポーツイベントを実施し、スポーツに親しむきっかけづくりを行い、常設で行うスポーツコミュニティ事業への参加案内を行う。

**【実施結果】**

実施回数: 3回

参加者数: 115名(延べ)

実施日	実施場所	参加者
10月14日	TAC東村山スポーツセンター	66名
11月2日	OXALA COMMUNITY PARK	28名
12月7日	OXALA COMMUNITY PARK	21名



第1弾ぐるスポポスター



地域コラボ SNS告知

**第1弾ぐるスポ**



**第2弾地域コラボイベント**



**第3弾地域コラボイベント(追加実施)**



事業実施内容

②スポーツコミュニティClub 活動

【実施概要】

実施期間: 2024年10月~12月

実施拠点: OXALA COMMUNITY PARK、オンデマンド配信

実施対象: 東村山市および周辺に居住する子ども・若者

実施内容:

子ども・若者に多様なスポーツ機会を提供し、ネガティブ意識の払拭と成功体験が得られ機会づくりによりスポーツの習慣化を図る。スポーツコミュニティClub 活動に参加しない日でも自宅等で取り組めるように、運動プログラム動画をオンデマンド配信する。

【実施結果】

実施回数: 56回

参加者数: 408名 (延べ)

実施日	参加者 (週合計)	実施日	参加者 (週合計)
10月7~11日	22名	11月25~29日	42名
10月15~18日	18名	12月2~6日	113名
10月21~25日	21名	12月9~13日	73名
10月28~11月1日	19名	12月16~20日	24名
11月5~8日	20名	12月21日 (朝活)	2名
11月11~15日	19名	12月23日	8名
11月18~22日	24名	1月18日 (朝活)	3名

スポーツコミュニティClub 活動



オンデマンド配信プログラム



朝活(ラジオ体操)



事業全体周知・参加者募集ちらし



事業実施内容

③地域サポータ人材育成事業

【実施概要】

実施期間: 2024年9月  
 実施拠点: OXALA COMMUNITY PARK  
 実施対象: スポーツコミュニティ活動の支援候補者(大学生・専門学校生中心)  
 実施内容: 子どもたちに寄り添い継続的活動を支える人材として、大学生・専門学校生などを中心とした地域サポータの育成を行う。

【実施結果】

実施回数: 1回  
 参加者数: 参加者8名(目標10名程度)

実施日	実施場所	参加者
9月28日	OXALA COMMUNITY PARK	8名



研修資料(抜粋)

**講座の目的**

社会環境や生活の変化に伴い生じている課題を知り、子どもの発育発達に関する理解を深め、私たち大人が「子どもに寄り添い関わる」ことで、未来を創る子どもが「遊びを通して」体を動かすことを好きになり、主体的に行動が出来る、幸せを感じながら、健やかに育まれる環境をつくることを目的としています。

●講座のゴール  
 「子どもの発達特性」や、「子どもに起きている課題とその背景」を踏まえ、遊びを通して関わり方を知り、子どもを健やかに育む役割となり、子ども第三の居場所を支える人材を育成する。

**今の子どもの課題とその要因を考えてみましょう**

最近の子どもの様子を見て、気になることがありますか? ご自身の子ども時代と比べて、変わらないものや、変わっているものはありますか?

**子どもの生活習慣の変化**  
 便利で快適な環境が生活習慣の乱れに!

今の子どもは...

- 車での移動
- ゲーム
- スマホ
- タブレット
- 動画視聴
- 読書
- 読書
- 読書

**子どもの遊び環境の変化**

子どもたちは、3つの間の消失により、体を動かして遊ぶこと自体が消失してしまった今、子どもは3つの間があっても体を動かして遊ぶことができず、公園や自宅でゲームを増えています。

今の子どもは...

- 遊ばない!
- 遊ぶのが怖い!
- 遊ぶのが面倒!
- 遊ぶのが難しい!
- 遊ぶのが怖い!
- 遊ぶのが面倒!
- 遊ぶのが難しい!

**子どもが抱えている3つの課題**

- 1 「学力」の低下  
記憶力を問う知識ではなく考える力
- 2 「コミュニケーション能力」の低下  
自分の意志を伝える・相手への気遣い
- 3 「体力」の低下  
フィジカルフィット

Q1 これらの3つの力が低下してきたのはいつ頃から?  
 Q2 今の子どもたちはどれくらい活動できている?

**10年後、20年後の未来に活躍する大人を育てる**

読書の習慣を身に付けよう!  
 読書は、知識やスキル、想像力を育みます。

読書の習慣を身に付けよう!  
 読書は、知識やスキル、想像力を育みます。

第一回 未来をつくる子どもを健やかに育む人材育成  
 ~サポータ人材養成講習会~  
 参加者募集のご案内

現代の子どもたちは、便利な生活を生み出した「運動不足」「睡眠不足」「学力低下」などの課題を抱えています。特に「運動不足」「学力低下」は、子どもの健康や学習意欲に悪影響を及ぼしています。本講習会では、子どもを健やかに育てるための「運動不足」「学力低下」を克服するための実践的な知識やスキルを学びます。

また、本講習会には、プロのトレーナーと一緒に体験しながら学ぶ機会にもご参加いただけます。

●開催日時・場所  
 9月28日(土) 10:00~11:00  
 @OXALA COMMUNITY PARK

●参加費  
 無料

●参加申し込み  
 申し込みは、お申し込みフォームから  
 子どもの育ちに関心のある方

●申し込み先  
 現代の子どもに必要としていること  
 ・子どもの発育発達に関する知識やスキル  
 ・子どもとの関わり方

●申し込み先  
 申し込みは、お申し込みフォームから  
 申し込み先: 9月27日(金)

事業全体周知・参加者募集ちらし

広報展開(募集・事業周知)

【事業周知】

事業全体周知・参加者募集ちらし



対象者:  
 東村山市および周辺に居住する  
 子ども・若者

周知方法:  
 SNS等によるデジタル周知

事業①第1弾ぐるスポポスター・ちらし



対象者:  
 東村山市および周辺に居住する地域住民

周知方法:  
 東村山市ホームページ等によるデジタル周知

教育委員会から  
 事業周知・参加者募集メールを発信



対象者:  
 東村山市立小学校児童、  
 中学校生徒

周知方法:  
 保護者連絡メールでの周知

Instagramによる  
 参加者募集



対象者:  
 東村山市および周辺に居  
 住する子ども・若者および  
 地域住民

周知方法:  
 Instagramによる周知

事業③人材育成講座  
 参加者募集ちらし



対象者:  
 スポーツコミュニティ活動の  
 支援候補者

周知方法:  
 SNS等によるデジタル周知

## 効果検証の方法と結果

### ■期待される効果と検証方法

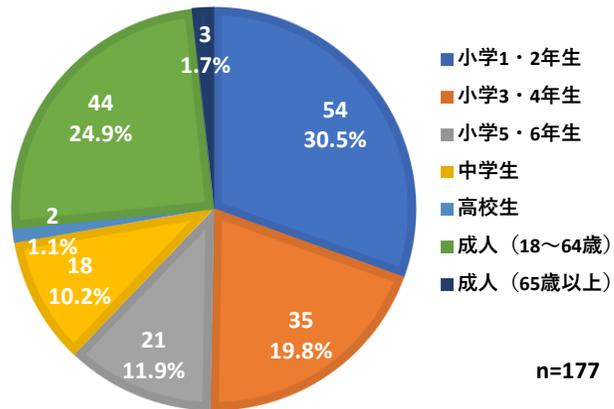
- 本講座に参加した方を対象に事業の効果検証を行うために、以下に示す評価指標に基づきアンケート調査を実施した。有効回答は177名であった。

増加効果の評価指標	検証方法	目標値	実績値
スポーツコミュニティ活動参加人数	参加者数を把握	400人以上	408人
運動・スポーツで体を動かすことが楽しいと感じた人の割合	アンケート調査(事業終了時)	6割以上	97.2%
今後もスポーツコミュニティClub活動に参加したいと思う割合	アンケート調査(事業終了時)	6割以上	98.8%

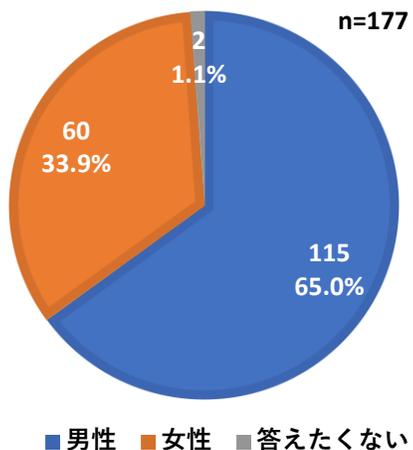
### ■効果検証(アンケート結果)

#### 回答者属性

##### 問)年代



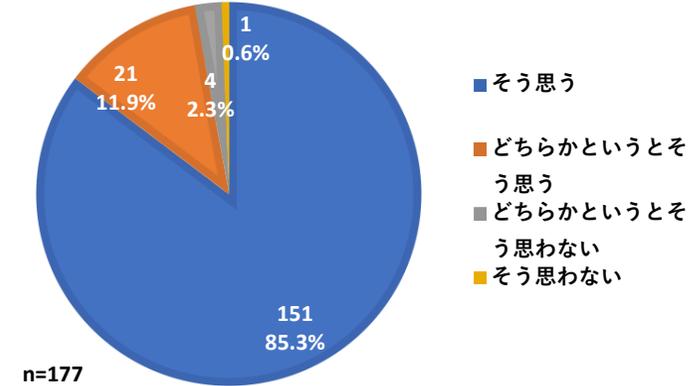
##### 問)性別



### ①運動・スポーツが好きな人・楽しいと感じる人が増加

#### 楽しみながら運動・スポーツを実践する機会を提供

問)本事業を通じて運動・スポーツで体を動かすことが楽しいと感じたか

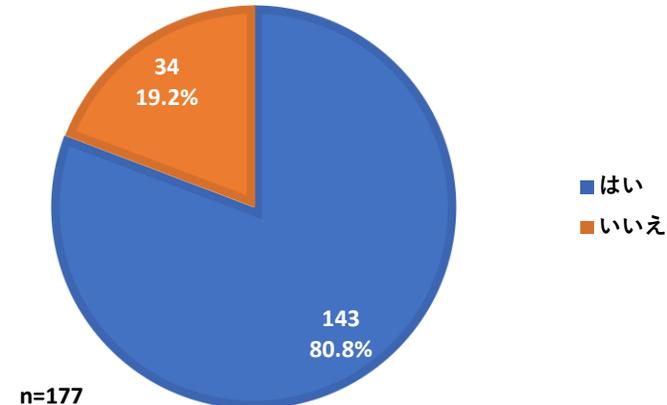


- 「本事業を通じて運動・スポーツで体を動かすことが楽しいと感じたか」の問いに対して、177人中172人が「そう思う」「(そう思う)」「(ややそう思う)」の合計)と回答した。9割を超える参加者が、本事業により運動・スポーツの楽しさを体感し、目標を達成した。

- 本事業では、VRやゆるスポ等運動・スポーツが苦手な子どもも参加しやすいプログラムを提供したことにより、体を動かすことが楽しいと感じる子どもが増加したと考えられる。

#### 運動・スポーツに親しむきっかけづくりに寄与

問)体を動かすことが好きか



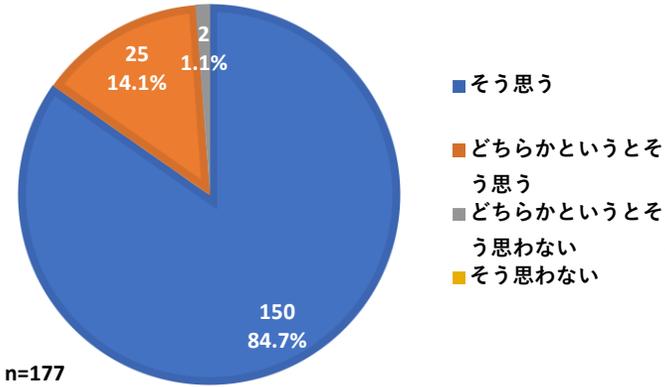
- 「体を動かすことが好きか」の問いに対して、177人中全員が「そう思う」「(そう思う)」「(ややそう思う)」の合計)と回答した。

- この結果は、本事業への参加で体を動かすことの楽しさを体感し、運動・スポーツに対する親しみにつながったことによるものだと考えられる。

## ②運動・スポーツの実施率向上

### スポーツコミュニティ活動への継続意向

問)今後もこのようなスポーツを通じたコミュニティ活動に参加したいか

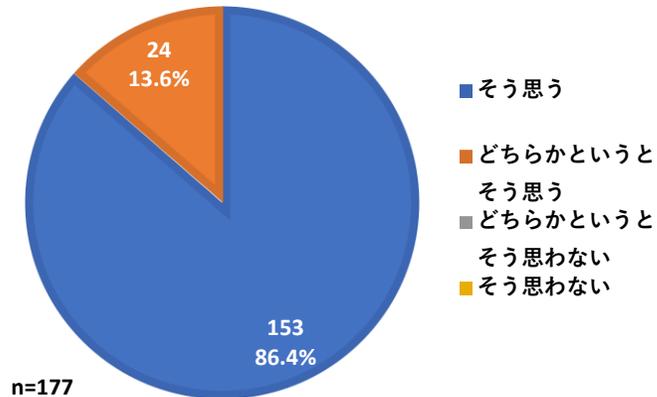


●「今後もこのようなスポーツを通じたコミュニティ活動に参加したいか」の問いに対して、177人中175人が「そう思う」「そう思う」と「ややそう思う」の合計)と回答した。9割を超える参加者にスポーツコミュニティへの継続意向があり、目標を達成した。

●これにより、ターゲットにおける今後の運動・スポーツ実施率向上につながる事が期待できる。

### 高い参加者満足度

問)本事業に参加して良かったか



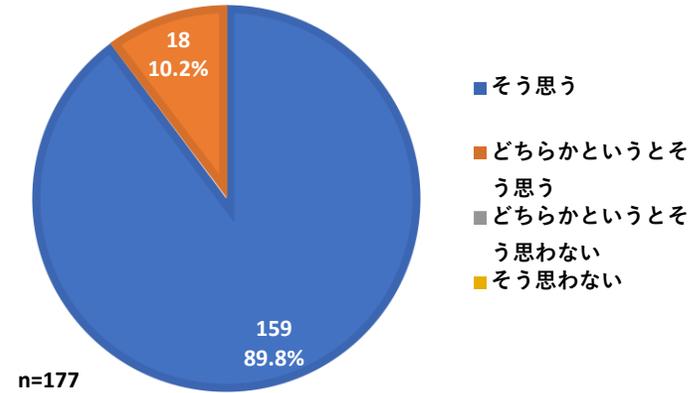
●「本事業に参加して良かったか」という問いに対して、177人中全員が「そう思う」「そう思う」と「ややそう思う」の合計)と回答した。

●本事業への参加者の高い満足度が、スポーツコミュニティへの継続参加意向にもつながっていると考えられる。

## ③地域における子どもの第三の居場所の必要性

### 地域における第三の居場所への期待が顕在化

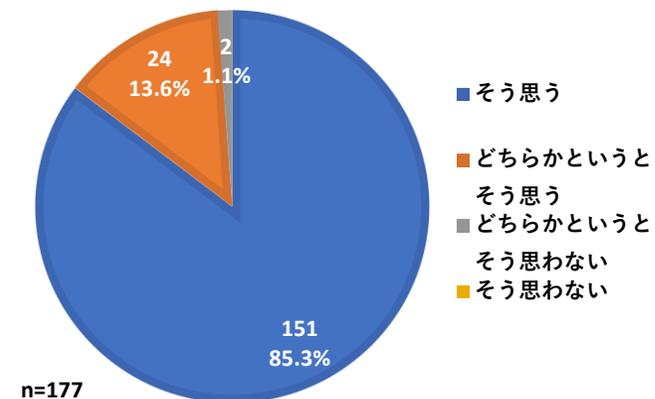
問)子どもたちが安心して自由に通える居場所が地域に必要なと思うか



●「子どもたちが安心して自由に通える居場所が地域に必要なと思うか」の問いに対して、177人中全員が「そう思う」「そう思う」と「ややそう思う」の合計)と回答した。  
 ●この結果から、地域における第三の居場所づくりへの地域住民の期待の高さがうかがえる。

### 運動・スポーツの実施機会が増加

問)このような機会は、自分のからだところの健康づくりに役立つと思うか



●「このような機会は、自分のからだところの健康づくりに役立つと思うか」の問いに対して、177人中175人が「そう思う」「そう思う」と「ややそう思う」の合計)と回答した。  
 ●本事業で実施した「第三の居場所を活用したスポーツ交流コミュニティ」モデルが、からだところの健康づくりに役立つと評価された結果となった。

## 結果に基づく要因の分析(仮説検証)

### ■運動実施阻害要因(仮説)の払拭に向けた取組と検証結果

スポーツ実施の阻害要因(仮説)	阻害要因払拭に向けた取組	効果検証の結果
<p>①不登校・学校になじめない子が自分のペースで楽しく活動できる場やこれらの活動を支援する人材が不足</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 体育授業以外に体を動かす機会が「週2日以下」の子どもは5割(スポーツ庁調査)。不登校等の場合は、より体を動かす機会が少ない。また、これらの活動を支援する人材が地域内に不足している。</li></ul> <p>②運動が苦手な子や人との関わりが苦手な子が持つスポーツに対するネガティブイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 運動が嫌いな理由として「他人と比べられる」「からかわれる」等を挙げる子どもたちが多い(スポーツ庁調査)。</li></ul>	<p>【実施事業】 ー子ども第三の居場所×スポーツで「あそぶ」「つながる」「元気になる」ー子ども・若者の生きる力を育むスポーツコミュニティ事業</p> <p>①地域のみinnで楽しむ「多世代交流型スポーツフェス」</p> <p>②気軽に立ち寄りカラダを動かしたり交流したりできる「スポーツコミュニティClub活動」</p> <p>③スポーツコミュニティ活動を支える「地域サポーター人材育成」事業</p>	<p>全ての検証項目で目標を大きく上回った。本事業を通じて運動・スポーツの実施が楽しいと感じ、今後のスポーツコミュニティへの継続参加意向につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●スポーツコミュニティ活動参加人数 目標:400人(延べ) →実績:408人</li><li>●運動・スポーツで体を動かすことが楽しいと感じた人の割合 目標:6割 →実績:97.2%(「そう思う」85.3%、「ややそう思う」11.9%)</li><li>●今後もスポーツコミュニティClub活動に参加したいと思う割合 目標:6割 →実績:98.8%(「そう思う」84.7%、「ややそう思う」14.1%)</li></ul>